

天塩川ものがたり 第28回「天塩町・天塩川歴史資料館」

お話：天塩川歴史資料館 管理人 高柴幸子さん

送日：平成23年12月14日(水) 11:30～30分

第28回目の天塩川ものがたりでは、天塩町にあります天塩川歴史資料館にお邪魔しています。この資料館は「赤レンガ」として親しまれておりました昭和26年建築の旧役場庁舎を再生し、平成元年6月に開館しました。この資料館は天塩川と共に歩んできた歴史を想い、苦労が多い生活のなかで先人の方たちが築いた遺産を継承することとおし、明日の天塩町を築く場として位置づけたいとの思いから設立したものとことです。町民が天塩を郷土として認識する場であるのみならず、憩い集う中に、町の明日を考える学舎ともなります。

ここに展示されているものは、天塩町にあったもので町民の方々から提供されたもの。その数は619点にもなります。今回は資料館の管理人、高柴さんに館内を案内していただきながら天塩町、天塩川の歴史などについてお話を伺ってきました。



下の写真が天塩川歴史資料館の外観です。赤レンガがとても印象的で建造されたのが昭和の時代ということもあってか、個人的には昭和当時の雰囲気そのまま伝わってくるようでした。館内は田起こしに使われた農具なども。一番驚いたのはバイクが展示されていたことです！



この人形は昭和2年にアメリカの子供たちから日本の子供たちに送られた約200体の内の1体。友好の印として送られたものです！



下の写真はテシオコクジラの化石。世界最古のコクジラのものでされており、年代はおおよそ300年前にも遡るそうです。



天塩川歴史資料館に入るとすぐ目にとまるものが『長門舟・天塩川丸』。高柴さんは天塩町の魅力を『自然にあふれていて海の幸、山の幸といった沢山の幸に恵まれており町の皆さんとも親戚のようなお付き合いが出来るのが天塩町の魅力の一つ』とお話されていました。

天塩川歴史資料館

お問合せ

〒098-3303

天塩郡天塩町新栄通6丁目

電話：01632-2-2071

開館時間：毎年5月1日～10月31日

10:00～17:00

入館は午後4時半まで

休館日：月曜日